

高速道路を走行していて、「これは一体何のためにあるのだろう?」と思うことはありませんか。今回はパート3、高速道路ドライブ中の疑問にお答えします。

まずはこれ!



近、高速道路でこのバルーン型の人形見かけたことありませんか?

高速道路上の作業で、車線規制を行う際に、一番危険な規制先頭付近に立ってドライバーの皆さんへの交通誘導と現場作業員の命を守っている身長約2メートルの人形、正式名称「バルーン式人型交通誘導安全標識」です。

名前もちゃんとしていて、男の子は「i光太郎くん」、女の子は「i花子ちゃん」です。皆さん是非覚えてくださいね!

表裏が同じデザインになっていて、左側又は右側どちら側でも誘導が可能で、夜暗くなってもバルーン内の照明が点灯し、抜群の視認性で車線規制の存在をお知らせします。

ドライバーの皆さん、前方にi光太郎くん、i花子ちゃんを見たら車線規制が行われていますので、安全のためにスピードダウンをお願いします。

※名前頭のiは、開発者のイニシャルです!



次にこれ!



速道路の中央分離帯に設置しているたくさんの軍配状のものや金網。

皆さん、なんとなくご存じかもしれませんが、夜間に効果を発揮するものです。

正式名称「眩光防止板」と言います。反対車線走行車両のヘッドランプの眩しさを防ぎ、ドライバーの安全をサポートする目的で設置しています。風の強い場所は金網状の眩光防止板を設置するなど場所に応じて、使い分けて設置しています。

